

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 133 10月号

2016年10月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから

(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.124

### 「本の虫」

揖西町 奥田 佳代子

今年の夏は、暑かった。在宅時間が多く久しぶりにたくさん本を読むことができた。小学校高学年頃は地域の図書館へと通い、毎日1～2冊は読んでいた。中学生になってからは部活などで忙しくなり図書館からは遠のいていった。そして仕事をする頃には本は買って読むものになってしまった。やがて結婚し、子どもが大きくなってくると、絵本や昔話を借りにまた図書館通いが始まった。その頃より「自然育児の会」や「ははとも通信」という集まりの仲間と共有したい情報を見つけては発信するようになった。9月で192号、本当に長く続いたものだ。毎月集まる「旬彩クッキング」や「手仕事の会」も細々ながらも続いている。もちろんレシピは図書館で借りたものである。いわゆる古民家といわれる古い家に引っ越し、リフォームに役立つ情報を集めたのも図書館。庭木の剪定や、自然、有機農業の情報集めにも役立った。

たくさん情報をスマートに得られる携帯やパソコンよりも1つのことをじっくり深く知りたいと思う私には、本の方が向いている。人に対しても一緒に、深くゆったりとつながっていきたいと思っている。

昨年より知人の依頼で月に3回自宅カフェを開くことになったが、レシピだけでなくいろんな生き方を知るためにも本はとても役に立っている。

活字が描く世界は見えないものを想像する力を育み、人に対して寛容になれるように思う。感動を得、元気がもらえる言葉に出会うととてもほっこり幸せな気持ちになる。やっぱり私は本が好きなのだ！



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『豊田章男が愛したテストドライバー』 稲泉 連 著 小学館



世界最大の自動車メーカーの社長、豊田章男が運転の師匠として仰いだのが、テストドライバーの成瀬弘であった。1936年臨時工として入社した成瀬だったが「トップガン」と呼ばれるテストドライバーの頂点に立ち、晩年は「伝説のテストドライバー」と社内外で称されるまでになった。

テストドライバーの仕事とは、新型車をアクセルやブレーキなどの評価基準をもとに走行テストを行うのだが、乗り心地や走りの気持ち良さといった機械的な数値では測れないものを表現する「クルマの味付け屋」としての役割を担っていると考えていた。クルマを企画し設計図を描くのは開発者だが、試作車を走らせて仕上げるのはテストドライバーの仕事という誇りがあった。

トヨタは、世界一の販売台数を目指し拡販を続けるなか、コンピュータ上の計算だけでクルマを作ることには価値を求めなくなった。同じような仕方で国を変えては売るという戦略で、新しい魅力あるクルマを開発する雰囲気がないことに危機感を抱いた。そうした作り方は成瀬の理想とはかけ離れたものであり、元々職人であった創業家出身の豊田には、ものづくりの原点を置き去りにして欲しくないとの思いがあった。そこで「運転の分からない人に、クルマのことをあだこうだと言われたくない」と、運転技術を教えるとともに、現場には命をかけてクルマを作っている人間がいることを伝えた。2010年、テスト走行中の事故で命を落とすことになるのだが、最期までいいクルマを作ろうと職人としてこだわりを持ち続けた生き方を感じることができる。(龍野図書館 三葉)

トピックス

秋のイベント紹介

第70回読書週間(10月27日~11月9日)  
標語「いば、読書」

おはなしのじかんのあとは 魔法使いの衣装を作ろう!

おはなしを聞いた後で、簡単な材料で魔法使いの衣装を作ります。

【プログラム】  
※2日間共通

おはなし 「お百姓とえんまさま」  
絵 本 『きょうはハロウィン』  
工 作 魔法使いのマントと帽子

【日時】①10月8日(土) 10:15~11:45  
②10月9日(日) 13:30~15:00

【場所】新宮図書館

【対象】5歳から(小学2年生以下は保護者同伴)

【定員】各回15名(要申込・先着順)

【持ち物】はさみ、ホッチキス、(あれば)衣装に貼るシール

【申込】新宮図書館(電話可)

読書週間行事

親子わらべうた 講座

親子でわらべうたや絵本を楽しみましょう。

【講師】小早川 美鈴 氏

【日時】第1回10月29日(土)

第2回11月5日(土)

第3回11月13日(日)

※いずれも午前11時~11時40分

【場所】龍野図書館 2階 研修室

【対象】0歳~3歳児と保護者

【定員】親子15組(要申込・先着順)

【申込】龍野図書館(電話可)

アクアホール・揖保川図書館共催事業

「平家物語を楽しむ」

アクアホール「たつのが」との共催事業として、レクチャーイベントを行います。筑前琵琶での平家物語(平曲)を聞いたり、平家物語と伝説についての講演会をします。

《平曲演奏会》

【演奏】大藪 旭晶 氏

【演目】祇園精舎、耳なし芳一、綱鉤

【日時】10月16日(日) 14:00~15:30

《平家物語講演会》

【講師】四重田 陽美 氏(大阪大谷大学教授)

【演題】『平家物語』と伝説

【日時】10月23日(日) 14:00~15:30

※各会とも【場所】アクアホール1階 リハーサル室【定員】各50名(要申込・先着順)【申込】揖保川図書館(電話可)

※申込、問い合わせは各図書館まで

## おすすめする子どもの本・123

### 『ふわふわくんとアルフレッド』 ドロシー・マリノ 文・絵 石井 桃子 訳 岩波書店

おもちゃのくまのふわふわくんは、アルフレッドが赤ん坊の時から友達です。

はじめは、ふわふわくの方が大きかったです。今ではアルフレッドの方がずっと大きくなりました。そして、ごはんを食べるときも寝るときも、アルフレッドの隣にはいつもふわふわくんがいました。

ところが、新しくとらのおもちゃ・しまくんがやってきてからというもの、ごはんもテレビも寝るのもアルフレッドはしまくんと一緒です。

ある日、ふわふわくんには見向きもせず、積み木でしまくんとの家作りを始めたアルフレッドに、ふわふわくんは「ぼくだって一緒に遊びたいよ」と言います。それなのに、なんと、アルフレッドはふわふわくを遠くに放り投げ、しまくんと遊ぶと言います。

ほったらかされたふわふわくんのとった“行動”は…。高い木に登って、降りてこないというアルフレッドをととても心配させることでした。

ぬいぐるみのふわふわくんが、アルフレッドに対等にわたりあう展開に意外性があり、最後にしまくんも含めた3者でのお茶の場面は満足感をもたらします。赤と黒の素朴なタッチの絵も、温かさとユーモアを添えます。読んであげるなら4歳から。

(揖保川図書館 大西)

### 『ドリトル先生の郵便局』 ヒュー・ロフティング 作 井伏 鱒二 訳 岩波書店

動物と話せるお医者さんのドリトル先生は、アフリカ旅行の帰り道、夫を奴隷船に連れていかれた女性と出会います。奴隷船と戦ってその夫を救い出した先生は、ファンティポという国のいいかげんな郵便制度が原因で、夫が奴隷に売られたことを知り、ファンティポのココ王に意見し、王立郵便局を改良することにしました。

ある時、先生はツバメのリーダーのスキマーを呼んで言いました。「おまえたちツバメが、郵便を運んでくれたらどうだろうね。わしの考えはこうなのだ。ここから北極へ運ぶ手紙は、ツバメによってアフリカの北の端まで運ばれ、スコットランドの北の端まではツグミに運ばせる。そこで、カモメがツグミから受け継ぎグリーンランドまで、そこから先はペンギン鳥が北極まで運んでゆくのだ」「しかし、ほかの鳥を仲間に入れることができなくっては」と心配するスキマーに、「いや、それはできるよ。なぜなら

鳥もケモノも、その郵便を利用して、手紙を出せるようになるからね」と、先生は言いました。これが世界で一番早い「ツバメ郵便」の始まりでした。

郵便事業を拡張して气象台を始めたり、動物のための雑誌を発行したりと、ドリトル先生の途方もない発想を、動物たちの協力で実現していくシリーズの魅力が満載の物語です。10歳くらいから。

(御津図書館 西田)



# 10月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

## ★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

### 龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

22日(土) 11時～11時20分

『ここよここよ』他

### 新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

3日(月)・9日(日)・31日(月) 11時～11時20分

『よういどん』他

### 揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

8日(土)・15日(土) 11時～11時20分

『わにわにとあかわに』他

### 御津図書館

#### 【対象】1～4歳児、保護者

9日(日)・16日(日)

11時～11時20分

『バルンくん』他

#### 【対象】5歳児～

9日(日)・16日(日)

11時30分～11時50分

『ちいさいおうち』他

## ★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌、語りなど

### 新宮図書館

1日(土)・22日(土)・29日(土)

10時15分～10時45分「お百姓とえんまさま」他

### 揖保川図書館

8日(土)・15日(土) 11時～11時30分

「まのいいりょうし」他

## ★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

### 龍野図書館

14日(金) 10時～11時30分

「バルセロナの窓」大崎善生 著  
『そういうものだろ、仕事っていうのは』より ※別会場

### 揖保川図書館

21日(金) 10時～12時

『チェルノブイリの祈り』  
スヴェトラナ・アレクシエーヴ  
イチ 著

### 御津図書館

19日(水)

13時30分～15時30分  
はりつけ  
『碟』吉村昭 著

## ★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

### 龍野図書館

13日(木) 10時～11時30分

『ふたりのイーダ』松谷みよ子 著 ※別会場

## ★ 古文書を読む会【対象：一般】

### 御津図書館

8日(土) 13時30分～15時30分

古文書の解説

## 館内特集・展示 (一部紹介)

### 龍野図書館

#### デザイン・・・かたち

衣食住、私たちの身の周りには様々なデザインのものがあります。ものの形について考えます。

【期間】10月31日まで

### 新宮図書館

#### 大作にチャレンジ!

特別整理日前の10月12日(水)までは、3週間20冊借りていただけます。この機会に読み応えのある本に挑戦してみませんか?

【期間】10月12日まで

#### 列車に乗って

列車に関する本、小説、写真集、お得な乗り方等を集めました。

【期間】10月31日まで

### 揖保川図書館

#### 子どもの本のとびらをひらいた人 瀬田貞二生誕百年

『ナルニア国物語』をはじめとする翻訳、創作等、児童文学の楽しみや喜びを多くの人に分け与えた瀬田作品をお楽しみ下さい。

【期間】10月16日まで

#### 平家物語を楽しむ

平曲演奏会・講演会に合わせて、本を取り揃えています。

【期間】10月31日まで

### 御津図書館

#### 食欲の秋 “おいしいもの”あつめました

料理レシピに、グルメ小説、サバイバルな食材(昆虫食!?)まで、おいしいものの本の特集です。“おいしそう”な小物の作り方もあります。

【期間】終了日未定